

東京都立北特別支援学校

令和4年5月13日（金）発行

〒114-0033

東京都北区十条台1-1-1

東京都立北特別支援学校長 小池 巳世

担当：特別支援教育コーディネーター濱野、萩原

TEL 03-3906-2321

特別支援教育コーディネーターだより①

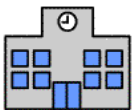
～地域の小・中学校の先生方へ～

こんにちは！北特別支援学校です！



いつも本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

本校のことを小・中学校の先生方に広く知っていただくために、コーディネーターだよりというかたちで、情報を発信させていただいています。どうぞよろしくお願ひいたします。



～北特別支援学校の紹介～

本校は**肢体不自由・病弱教育部門併置の特別支援学校**です。

肢体不自由部門は、豊島区、文京区、北区（一部を除く）、板橋区の一部、足立区の一部が学区域となっており、小学生から高校生までの児童・生徒がスクールバス等で登校し、学んでいます。本校には、生活面で全面的に介助が必要な子、車いすを自分でこいでいる子、杖を使って歩いている子など、様々な身体の状況の児童・生徒がいます。コミュニケーション面に関しても、言葉でやりとりをする子、手話などのサイン、シンボルカード等を利用する子、わずかな表情の変化で気持ちを伝えようとする子など様々です。授業は、児童・生徒一人一人の学習課題に対応しており、教科書を使って学習するグループ、個々にコミュニケーションの学習をするグループ等に分かれて行っています。体調の関係で通学できない児童・生徒には、訪問学級というクラスがあり、本校の教員が児童・生徒の自宅に出向き、指導を行っています。

病弱教育部門は、東京大学医学部附属病院の中にある「こだま分教室」と、指定地域内の病院に長期入院している児童・生徒を対象とした病院訪問学級があります。病気で長期入院している小学生から高校生の学習を保障する場で、児童・生徒は病室から病院内の教室まで登校したり、教員がベッドサイドまで行って授業を行ったりしています。入院中に、分教室または病院訪問学級の指導を受けるためには、北特別支援学校への転校手続きが必要となります。入院する病院によっては、対応する特別支援学校が変わるので、不明な点があればコーディネーターにお問い合わせください。



○御相談ください

小中学校の通常の学級、特別支援学級に在籍している肢体不自由のある児童・生徒の進路や生活支援に関すること、障害の有無にかかわらず身体の使い方がぎこちない児童・生徒への姿勢や動きの指導に関することでしたら、ぜひ御相談ください。また、福祉事務所等関係機関や障害種別の違う特別支援学校とのネットワークをもっております。相談内容によって、関係の諸機関に連絡を取り、支援につなげていきます。地域の学校に在籍する、支援が必要な子供たちの学校生活をより豊かにしていくために、小中学校の先生方と積極的に連携していきたいと考えています。気になることがありましたら、お気軽に御相談ください。

また、車いす体験授業、ユニバーサルデザインについての単元学習の一環として本校の見学、障害理解のための出前授業などにも対応しています。

○副籍交流のこと

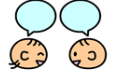
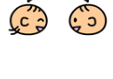
今後、地域の小・中学校には、副籍制度を用いた交流としてお世話になることがあります。現在の制度上、基本的に特別支援学校に在籍する全ての児童・生徒が、地域の小・中学校に副次的な籍をもつことになっており、副籍制度を用いた交流も徐々に広がってきました。小・中学校の先生方には、日々の業務でお忙しい中でこのような交流にも御協力いただき、感謝いたします。

副籍交流の基本的なねらいとして、東京都のガイドブックに「将来の共生地域の担い手となる人材を育てること」があげられています。私たち特別支援学校の教員としても、交流を行う上で、本校に通う児童・生徒はもちろん、地域指定校の子供たちにとっても有意義な時間となることを目指しています。交流を行うにあたり、どのような内容なら楽しく交流ができるのか、どのような手だてが必要なのかといったことも、ぜひ本校の担任やコーディネーターにお尋ねください。交流の内容について一緒に考えさせていただきます。また、上記の出前授業等もぜひ御活用ください。

今年度は、感染症対策を講じた上での直接的な交流やオンライン等を活用した交流、お便りや作品交換など、方法や内容を工夫して子供たちの関係性を継続できるような交流を、地域指定校の先生方と一緒に考えていきたいと思っております。まだ大変な状況の中ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

《出前授業で使用しているスライドを数点御紹介します》

なかよくなる ステップ

1. まえからこえをかけてね 
2. ゆっくり はっきり はなしてね 
3. へんじがなくても きいてるよ
4. どんなことを おもっているのかな？
(なにがすき？きらい？)
5. どんなことを ひつようとしているのかな
(なににこまってる？なにを てつだってほしい？)

いろいろなほうほうで、
くふうしながらすごしているよ



これから もっと もっと なかよくなるうね。
みなさんのことも おしえてね。
よろしくね！

みかけたら
こえを
かけてね！

